

【資料1】

令和6年度 東温市地域公共交通活性化協議会 歳入歳出予算—(案)—

東温市地域公共交通活性化協議会の令和6年度歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ3,000千円とする。

1. 歳入

(単位：千円)

科 目			予算額	摘 要
款	項	目		
1. 負担金			0	
	1. 負担金		0	
		1. 負担金	0	
2. 補助金			3,000	
	1. 補助金		3,000	
		1. 補助金	3,000	国庫補助金
3. 繰越金			0	
	1. 繰越金		0	
		1. 繰越金	0	
4. 諸収入			0	
	1. 諸収入		0	
		1. 雑 入	0	
歳入合計			3,000	

2. 歳出

(単位：千円)

科 目			予算額	摘 要
款	項	目		
1. 運営費			0	
	1. 会議費		0	
		1. 会議費	0	
	2. 事務費		0	
		1. 事務費	0	
2. 事業費			3,000	
	1. 事業費		3,000	
		1. 事業費	3,000	フィーダー系統補助金（河之内線）
3. 予備費			0	
	1. 予備費		0	
		1. 予備費	0	
歳出合計			3,000	

令和6年度取組概要（案）

予算を伴う事業については、令和6年度東温市当初予算案に計上しており、これらの事業については、予算の成立を前提として現時点で予定している内容となります。

1. 地域検討組織の立上げに向けての協議

- (1) 地域単位で移動手段について考える検討組織の立上げに向け、自治会を通じて沿線住民に対し、現状や、周辺の状況等を報告することで、住民自らが主体となって考える仕組みを構築する。

2. パーク＆ライドの取組

- (1) パーク＆ライドの実施

現在は、本庁、支所、南方及び横河原（市営住宅宮裏団地跡地）の市内4か所でパーク＆ライドを実施している。利用促進用リーフレットや、市広報誌、HP、SNS等を活用し、市民へ広く周知することで、利用の促進を図る。

3. スタンプラリーの実施

- (1) 市内において、公共交通機関を利用してチェックポイントを目指すスタンプラリーを実施し、普段は公共交通機関をあまり利用されていない方も、レクリエーションとして公共交通機関を利用するインセンティブを創出し、意識づけを図る。

4. 東温市公式SNSの活用

- (1) 東温市公式SNS（インスタグラムやLINE）を用いた積極的な情報通知・情報収集を行う。

5. 転入者モビリティ・マネジメントの実施

- (1) 土地勘の無い市内転入者に対し、速やかに最寄り駅・最寄りバス停等を案内できるリーフレットを窓口において配布し、転入者の意識と行動を公共交通へ向け、公共交通の更なる利用促進を図る。

6. 公共交通ニュースの掲載

- (1) 市の広報に「公共交通ニュース」として、公共交通に関する情報を継続して掲載する。

7. 各種教室の開催

- (1) 子どもバス教室の開催

東温市独自の制度として平成26年度に創設した「バス応援団認定制度」と子どもを対象とした路線バス体験教室を組み合わせ実施し、子どもたちに公共交通に対して親近感を持ってもらうための取組を推進する。

＜路線バス親子体験教室の様子＞



＜子どもに配布する団員証＞



(2) 初心者向けスマホ講座の開催

将来のDX（デジタルトランスフォーメーション）に備え、スマートフォン初心者向けに、スマートフォン講座を開催し、グーグルマップやバスロケ（伊予鉄バス株式会社様）の使い方を覚えていただき、公共交通を利用した外出頻度の増加を図る。

＜初心者向けスマホ講座の様子＞



＜スマホ教室で使用した資料＞



(3) 児童を対象とした公共交通の体験教室の開催

将来の利用者となる児童を対象に、マイカーの普及に伴い乗車の機会が少なくなった公共交通機関について学習・体験する機会を設け、公共交通をより身近に感じてもらい、将来にわたる継続的な利用の促進を図る。

＜体験教室の様子＞



※東温市地域公共交通計画において位置付けているその他の取組についても随時検討・実施を行う。